



普段着の私



看護部長 黒崎 里美

私の日課とつぶやきについて紹介します。

私の日課は、朝5時過ぎにおきて愛犬2匹（種類：トイプードル、ネーム：おはぎ&きなこ。名付け親は娘）の散歩から始まります。朝に弱い私は、目覚まし時計を何度も鳴らし寝ぼけた状態で、顔を見られないように帽子で隠し、2匹（特におはぎ）に連れて行かれ散歩をしている毎日です。ちなみに雨の日は2匹のぬれた毛を乾かすのに時間がかかるため（飼い主のわがままで）お休みです。おはぎ&きなこは、なぜ散歩に行かないのかと私の顔を見ているのですが、2匹の前足をもって散歩に行けないことを話しかけています。犬がしゃべれたらおこられているでしょうね（笑）。昔は家内で犬を飼うなんてできないと思っていましたが、娘が仕事の都合で、育てられないと我が家にきてからというもの、情がうつり一緒に寝ています（笑）。孫もいるのですがまた違ったかわいさで毎日癒されている私です。

最後につぶやきとして、孫の守りと親の介護等で、ここ数年、トールペイントをする時間がなかったのですが、また始めようかと思っている今日この頃です。



医事調整課 主事 木村 浩之

私の趣味は、スポーツ観戦です。特に、オリンピックや野球が始まると、インターネットのリアルタイム情報やテレビ中継が欠かせなくなっています。

また、野球に関しては、最近では、テレビやインターネットといった通信媒体を通じた観戦だけではなく、年に数回現地で観戦しています。現地では、テレビで感じる臨場感とは違った雰囲気や迫力を肌で感じるができます。そして、同じ目的で集まった大勢の方と時間を共有できるのが、楽しいです。

以前、私は四六時中仕事のことを考えるほど、オン（仕事）とオフ（休み）の切り替えが上手くできませんでした。が、現地観戦など外出の機会を増やすようになってからは、気分一新仕事に取り組めるようになったかなと思っています。

皆さんの中に、もし同じお悩みをお持ちの方がいらっしゃいましたら、よければ参考してみてください。



植物のある暮らし

静かなる緑の力

園芸療法士 黒部 一之

かつて恐竜がいた時代、何億年もの間、地球を支配していたのは森でした。陸地は樹木で覆われていました。そんな世界にある挑戦者が現れます。それが草です。もともと小さな存在だった草が徐々に力をつけ、この惑星を支配するようになっていきます。そして、海の姿をも変え、動物の進化を促し、人類に文明誕生のきっかけをもたらしたのです。

昔、地球は森で覆われていました。大きな木が太陽の光を独占し、小さな草は陰でひっそりと生活していました。その圧倒的な力の差をひっくり返し、草が地球を支配するようになったのはなぜでしょうか。

草は“燃えやすい”という特徴をいかし、支配を続ける木に戦いを挑みました。火を味方につけ、自分もろとも焼き払うと、木よりも早く再生して勢力を広げていったのです。草は木を制圧すると、次は動物に食べられてしまうのを防ぐために進化します。葉の周りを固いシリカで覆ったのです。草を食べることができなくなった動物は絶滅しますが、中にはそれに対抗するため、歯を進化させたものもありました。馬などが現代まで生き残っている動物です。それらが排せつする糞の中には、草の成分シリカが含まれ、それが海に流されることで植物性プランクトンの珪藻（けいそう）が急激に増え、海の生物の栄養となり、大量の酸素を作り出したりするようになりました。

また、草の上に暮らすチンパンジーに我々の祖先の進化を見ることができます。木の上から降りて地面での生活へと変化したことで、二足歩行が始まったのです。そこには、地球上の植物の支配が木から草へと変わったことが大きく関わっています。

さらに、古代の人々の食生活を支えていたのは、今日我々が「小麦」と呼んでいる、草から作られたパンでした。突然変異で生まれた小麦は、穂が落ちにくく収穫が容易で、種を取っておいて栽培することもできました。その結果、農業が始まりパンが作られるようになったのです。

草はどこにでもある身近な存在でありながら、私たち人間、そしてこの地球さえもコントロールしてきたのです。皆さんも昼休みや仕事が終わってから、院庭や病院外周を歩き、足元でたくましく生きる草と対峙してみたいかたがででしょうか。そうすることで、人はもっと謙虚になれ、他者を思いやることができると思うのですが。



リハビリテーション西播磨病院だより

ひがりの都

2016年
9月発行



着任のごあいさつ

業務部長 長谷川 博信



4月1日に着任いたしました長谷川です。まだまだ不慣れなところもありますが、皆様に助けをもらいながら、日々の課題に取り組んでおります。

随分昔のことですが、私が就職する直前、母親がくも膜下出血で倒れました。母親は目を閉じたまま半年以上が経ち、どうか意識を取り戻したときには、体がほとんど動かない状態になっていました。若かった私は、介護や家事、新たな仕事の重圧と、楽しそうに過ごす友人と自分とのギャップに落ち込んでいました。そんな中、出会ったのは、母親が受けたリハビリテーションサービスでした。入院中、懸命にお世話していただいた看護師さんやセラピストさんの姿が印象的でした。障害が残ったものの、そのおかげで母親は自宅で暮らせるようになりました。その時の感謝や感動から、いつかはリハビリテーション病院のスタッフになりたい、役に立てるようになりたいと思いました。そして今、間接的ではありますが、中央病院を経て、西播磨病院の事務職員として、リハビリテーションに関わらせていただくことになりました。中央病院もそうでしたが、西播磨病院のスタッフも、親切で一生懸命です。このような中で、引き続きリハビリテーションに関係する仕事ができることに喜びを感じております。

今年、西播磨総合リハビリテーションセンターは開設10周年を迎えました。記念式典では、地域や病院、学校関係者など多くの皆様に参加いただきました。また、地域交流事業として、9月にはふれあいリハフェスタを、10月には市民公開講座を開催します。この他にも地域の皆様との交流を深める事業を行っていきます。また、事務職員一丸となって、窓口では丁寧でわかりやすい説明を心がけたいと思います。さらには、新たな医療機器の導入などにも積極的に取り組み、患者の皆様にご満足いただけるサービスができるよう、取り組んでいきます。

新しい職場、出会いを大切にしながら、病院全体が明るく、職員が働きやすく、そして西播磨病院の理念でもあります「地域とともに歩み成長するリハビリ専門病院」をめざして、事務職員として少しでも貢献できるよう、精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

開設10周年記念式典を行いました

6月4日（土）、西播磨総合リハビリテーションセンター開設10周年記念式典を開催しました。当日は、あいにくの空模様で、最初に行われた記念植樹は、傘を差しての実施となりましたが、多くの方が見守る中、滞りなく行われました。場所を移して交流ホールで行われた記念式典は、横山所長、福田理事長の挨拶から始まり、来賓の金澤兵庫県副知事、高橋しんご兵庫県議会健康福祉常任委員会委員長からお祝いの言葉を頂戴した後、センター運営に貢献いただいている4組のボランティアの方々に、所長より感謝状が贈呈されました。記念コンサートでは、兵庫県音楽療法士会による素晴らしい演奏と、会場が一体となった音楽療法のデモンストレーションを参加者全員が楽しみました。最後の交流会では、開設10周年を振り返るスライドが上映され、参加者に当時の思い出をお話しいただいて大いに盛り上がりしました。

開設からの10年を振り返って懐かしむとともに、これからの10年、センターの更なる発展を誓う一日となりました。



金澤兵庫県副知事よりお祝いの言葉を頂戴しました。



雨の中、傘を差しながらの記念植樹。



4組のボランティアの方々に、所長より感謝状贈呈。



兵庫県音楽療法士会による記念コンサート。

病院ギャラリーについて

リハビリテーション西播磨病院1階ギャラリー（東面）では、地域住民や障害者の方に芸術活動の発表の場を提供することにより、西播磨病院の入院患者やそのご家族様への癒しやQOLの向上と地域の方々との交流を目的に、約1か月毎の展示を行っています。

これまでに、展示していただいた作品をいくつかご紹介します。



【作業所「トークゆうゆう」の13人展】
失語症の者が働く作業所「地域活動支援センター トークゆうゆう」に通うメンバーの作品展です。



【研修交流センター
陶芸教室・絵手紙教室共同作品展】
入院患者様や地域の高齢者、障害をお持ちの方が創られた作品です。



【「花の姿を借りて心を形に」押し花アート展】
草花を素材に、その花の持つ美しさをそのまま残した押し花アートです。



【草木の色を編む暮らし展
（草木染工房 チャー美流）】
身近な自然染料を使った糸での編み物です。



【佐用写真サークル会員展】
地元佐用町の朝霧など四季折々の写真展です。



ここで紹介した作品は一部ですが、これまでにたくさんの方々にご協力いただき、病院ギャラリーは、毎月色鮮やかに、そして芸術的に飾られ、患者様はもちろん、ご家族様や職員までもが楽しませていただいています。

おかげさまで、平成28年度内はすべて、展示予定が予約済みとなっていますが、お知り合いなどで芸術活動の発表の場をお求めの方がおられましたら、ぜひ、地域支援・研修交流課までお気軽にお声かけください。

地域住民の皆様と交流を深めるとともに、皆様の活動の発表の場を提供できるよう努めていきたいと思ひます。これからも、皆様の癒しや励みとなるような素晴らしい作品の展示を行っていきますので、どうぞお楽しみください。

ふれあいリハフェスタ in 西播磨を開催します

センター利用者と地域の方々とのふれあい、交流を図るとともに、センター機能の体験を通して福祉や医療に対する理解を深めてもらうことを目的に、「ふれあいリハフェスタ in 西播磨2016」を開催します。



多くの方々に楽しんでいただけるプログラムを用意しておりますので、9月22日（木・秋分の日）は、ぜひ西播磨総合リハビリテーションセンターにお越し下さい。

平成28年9月22日（木・秋分の日）

10:00～16:00

会場：西播磨総合リハビリテーションセンター



※ その他、いろいろなプランがあります。
詳細はHPをご覧ください！

“おんせん”と“うまいもん”で
おもてなし 松葉が二、ホテルイカ水揚げ量日本一！
山陰浜坂
あじさいプラン
平日1室2名様利用、1泊2食付
大人お一人様（60歳以上の方）
6,450円（税込）
浜坂温泉保養荘
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
TEL 0796-82-3645 FAX 0796-82-3647
http://www.hamasaka-ni.com/

